審判員の打合せ事項

各審判は事前に下記事項の確認、諸準備することが望ましい。

1　競技時間　（大会規定の確認）
2　競技者の交代の人数　（大会規定の確認）
3　競技開始時の最少人数　（大会規定の確認）
4　時間の確認
（前半および試合終了１分前には主審・副審・第４審で確認をする）
5　副審の受け持つサイドを決める。（上級副審を決める）
6　スローインの時の監視の分担。
（主審は頭上，副審は足下。スローインのポイントをはっきりと明示）
7　コーナーキックの取るべき位置
（主審はペナルティエリア内の反則を見やすい位置。副審はゴールライン上）
8　直接ゴールを狙えるフリーキックの時の位置。
（主審はオフサイドライン、副審はゴールラインを押さえる。）
9　ペナルティキックの監視の分担。（試合中のＰＫ時）
（主審はペナルティエリア・アーク。副審はゴールラインとキーパーの動き）
10　ペナルティエリア内の反則の判定。
（主審はディフェンスサイド。副審はオフェンスサイドの監視を）
11　主審の見えない反則の副審の合図。（フラッグを頭上に上げ、小刻みに振る）
12　アウトオブプレー，得点の時の合図。
（得点時主審は副審とアイコンタクト。副審はハーフウエイラインに向け 10m 位駆け戻る）
13　主審がゴールインを見極められなかった時。
（主審は必ず副審にアイコンタクトし確認、場合によっては直接確認を）
14　オフサイドの判定について
（副審は常にオフサイドラインをキープ。違反の合図時の確認。その後の処置の確認）
15　副審の合図を主審が採用しない時の合図。
（主審は副審に手などで採用しない旨の合図をする）
16　競技時間の終了時の合図　（副審はフラッグを巻いて下げること）
17　競技者の入場，退場時の処置。
（何人も主審の許可なくして、フィールドに入る、出ることはできない）
18　同点の時の処置　（延長戦の有無、ペナルティマークからのキックの有無の確認）
（ペナルティマークからのキックの時、コーチ１名をサークルに入れる。
コイントスを行う。勝った方が先攻か後攻かを決める）
19　第４の審判員の任務。主審の援助（交代手続き。ボールの交換。ベンチコントロール
ケガ人、他）
20　競技場の設備の点検。（第１試合は特に慎重に点検）
21　夏季の給水タイム（大会規定の確認、アディショナルタイムを取る）

（　）内は世田谷少年サッカー連盟主催試合の運用アドバイスです。

● アディショナルタイムは原則としてとらないが、ケガ、不測の事故や事態発生時は主審の裁定に委ねる。